

別記様式（第5条関係）

会議録

会議の名称	第3回新設小学校開校準備委員会			
開催日時	令和7年9月29日（月）午後7時00分から 午後9時00分まで			
開催場所	福津市役所別館1階大ホール			
委員名	出席委員 樽谷 将仁 佐々木 美奈 仲村 浩一 奥之瀬 斎美 中野 隆 塚本 義孝 細田 浩司 安河内 友美 西田 剛信 梅野 邦彦 欠席委員 土器 修			
所管課職員職氏名	教育長 薄 俊哉 教育部長 宮原 栄介 理事兼主幹指導主事 原尻 敏広 新設小学校準備室長 志賀 孝俊 学校教育課長 石井 啓雅 新設小学校準備室新設小学校準備係長 鈴木 健夫 新設小学校準備室新設小学校準備係長 有吉 弘貴			
会議題 (内容)	1. 委員長あいさつ 2. 協議事項 (1) 校章について (2) 校歌について (3) 通学路について 3. 次回開催日程について			
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開			
非公開の理由				
傍聴者の数	なし			
資料の名称	• 会議次第 • 資料① 校章について • 資料② 校歌について • 資料③ 通学路について			
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 記録内容の確認方法：委員長確認			
その他の必要事項				

審議内容　（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

- 委員長あいさつ
(西田委員長が開会のあいさつを行った。)

- (1) 校章について

【意見交換】

西田委員長	前回出た意見を踏まえ考えたが、地域や保護者、子どもたちの願いや思いなどを聞いて、エビデンスとして固めていった方がよいと思うが、いかがか。
委員	ある程度例を出してアンケートを取るのがよいのではないか。
西田委員長	アンケート用紙を回覧板などで回覧できるのか。
委員	可能ではある。しかし、回覧物が多いこともあるってか、回覧板に対する反応は少ないよう思う。
委員	文書の発出者が誰であっても、自治会をとおして回覧板を回す。回覧物が多いため、ほとんど内容を見ない。回答が必要な文書を一番上に置いても見ておらず、組長に問い合わせを行い、叱りを受けるといった状態である。
西田委員長	回覧板の状況は承知したが、地域の方に知らせるためには、回覧板を利用することになるか。
委員	Web アンケートを行う方法もあるかと思うが、高齢の方には難しいと思う。
西田委員長	回覧する書面に QR コードを貼付して、Web 上で回答できる方は Web で回答していただき、できない方用に、宮司コミュニティセンターに、アンケート用紙を設置して投票していただく方法は可能か。
委員	可能である。Web での回答について、最近宮司地域でも導入しており、小中学校の保護者世代からは、結構反応がある。ソフトを使えば、集計などの事務処理も簡単にできる。紙と Web の併用がよいのではないか。
西田委員長	地域へのアンケートは、そのような方法で実施できると思う。子どもと保護者に対しては、対象が宮司 2 区、3 区、西福間 5 区の 4 年生以下の子供なので、限定することになるが、スクールメールは対象者だけに送信することはできないため、対象者だけ回答してほしい旨を記載し、依頼することになると思う。
委員	地域に案内するのであれば、子どもと保護者も含まれているのではないか。
委員	地域の中に保護者、子どもも入っている。
委員	ただし、自治会に入っていない方々をどうするのか。エビデンスに関する事であるが、アンケートが届いた数にエビデンスを求めるのか、回答数を上げることを求めるのかで、施策が変わるとと思う。回覧板で行うと、見ない人が出てくるので、必ず見てもらうことを求めるならば、アンケートの実施回数や期限の兼ね合いもあるが、全戸ポスティングを行う必要があると思う。手法は、対象地区配布分だけに用紙を織り込めないか。その上で、回答が来ない場合は、本委員会で案を出して、もう一度、簡単なアンケートを、回覧板を利用して行うというやり方がよいのではないか。
西田委員長	対象地区限定で広報紙に折り込むことは可能か。
委員	ゴミ関係の案内は地区別ではなかったか。

事務局	地区別に分けていない。
委員	地区別の折り込みが可能であれば、QR コードを使って、実施できるかと思う。
委員	ただし、何度も行うことは難しいと思うので、校章や校歌はある程度、一括りにして実施したい。
事務局	地区別に折り込みができるかなど、確認を行いたい。
委員	広報紙に折り込む場合は、回収方法を考えなければならない。回覧板であれば、組長を経由して自治会から委員長に提出することは可能である。回覧をすれば、興味のある方は回答する。広報紙に折り込むのであれば、QR コードによる回答しかないと思う。
委員	西福間 5 区については、QR コードで回答すると思うが、宮司 2 区、3 区はどうか。QR コードと紙はどちらがよいか。
委員	福祉社会など年配の方々は、紙で回答する。アンケートを取る場合は、本委員会で一つの案にまとめて提示する必要があると思う。
委員	その他の意見を出してもらってもよいが、自由記述となると大変になると思う。アンケートの項目は、モチーフや色などの意見が出ていたかと思う。
西田委員長	まずは、アンケートの取り方を決めたいと思う。
委員	広報紙への折り込みと、回覧板でよいのではないか。
委員	アンケートの内容は、前回の会議で何点か示されて、一つ目が、地域や子ども達から意見をもらい、イメージを積み上げ、プロに依頼し、出来上ったものを最終投票する。二つ目が、ある程度形づくったものを、数個提示してアンケートを取る。これまでの話を踏まえると、前者をイメージしているということよいか。
委員	そのことについては、十分に議論した方がよいと思う。何をエビデンスとするか。
委員	それによって、アンケートの取り方が変わるのでないかと思っている。
西田委員長	何をエビデンスとするのかが大事だと思う。エビデンスや材料を整理していく必要があるのでないか。
委員	それは、前者で進めるという認識でよいか。
西田委員長	そのとおりである。ただし、エビデンスを集めて、それを基に決定するのは、本委員会で行い、再度、アンケートを取ることはしなくてもよいと思っている。
委員	決定することは、本委員会の役割であると思う。
委員	校歌に関しても近しいやり方になると思う。校歌であればワードを、校章であればモチーフや色、地域のイメージなど、回答案を用意して複数をチェックする形と、その他で自由記述を用意し、回答していただく。できれば対象の三つの区に全戸ポスティングしたいが、可能な方法を事務局に確認いただきたい。
西田委員長	そのやり方がよいと思う。
委員	アンケートの内容がイメージできない。そのため、どのように発信するかも結びつかない。
委員	桜、梅、山、海など、地域にちなんだものなどを選べるような内容にするイメージである。
委員	広報紙に折り込んで全戸配布、回覧板での回覧、この 2 手法での実施と

	なると思う。回覧板は自治会未加入者には回らないが、マンションや共同住宅など、短期的に住んでいる方がほとんどなので、そのような方々は対象にしなくてよいと思う。興味のある方は回答してくれると思うので、回覧板の効果はあると思う。まずは、アイデアやモチーフなどのアンケートを取って、本委員会である程度決めて、もう一度アンケートを取ることになるのか。
事務局 委員	時間はかけても構わないと思っている。 アイデアやモチーフなどの感覚的なものはどのようにアンケートに掲載するのか。
委員	校歌はイメージがつきやすい。デザイナーに相談した方がよいか。
委員	デザイナーにお願いするか、前回意見で出た ChatGPT や AI で作るか。
委員	アイデアが出なくとも、アンケートを取ったというエビデンスがあればよいのではないか。
委員 委員	地域など関係する方々の意見を伺ったという過程がほしい。 アンケートを取るのは、対象者や対象地区に絞るのか。コミュニティ・スクールのことを考えると、宮司 2 区、3 区だけではなく、宮司地区全体の意見を幅広く入れた方がよいのではないか。
委員	前回、校名の最終候補案を決める際には、どの範囲の方々に意見を聞くかという議論の中で、宮司 2 区、3 区、西福間 5 区に限定することになったと思う。
委員 委員	範囲を広げ過ぎても、意見の集約に偏りが出てくる可能性がある。 宮司 2 区、3 区のみとなると宮司地区が半分に切られる。津屋崎小学校区まで広げると大き過ぎると思うので、宮司地区全体を対象に入れてもよいのではないか。
委員	宮司ヶ丘や星ヶ丘など、津屋崎小学校に通学する世帯に対して意見を聞くことに、効果があるのか。
委員	宮司地区のどの範囲まで広げるのか、という議論はあると思う。光の道を挟んで、新設校に近い地区もある。最終候補案は、宮司小学校に決まったので、宮司地区の方も対象にしなくてよいのか、と思った。
委員	宮司 1 区や宮司西区を対象とするという案は、わからなくもないが、際限がなくなるのではないか。
委員 委員	新設校の校区を対象とした方がよいと思う。 第 1 回の会議で、コミュニティ・スクールと郷づくりのことについて、質問があり、回答が保留の状態である。コミュニティ・スクールは郷づくり単位で考えていくことなので、このタイミングで宮司地区郷づくり全体に広げることを検討することも必要かもしれない。宮司地区郷づくりの中で、学校が分かれるので、どの学校に協力するか、地域の方々の気持ちによって異なると思う。コミュニティ・スクールと郷づくりのことが気にかかっている。
委員	基本的には、校区=郷づくりであり、このことについては、検討していく必要があるが、現段階でそこまで整理していくと時間がかかるという回答であったと思う。
委員	過去に、花見地区の校区や郷づくりが変わり、その後元に戻った経緯もある。そのことを踏まえると、今回の宮司地区に関しては、引き続き津屋崎小学校に通う児童が多すぎるため、保留の状態であると思う。宮司 2 区、宮司 3 区、西福間 5 区の 3 区だけで宮司郷づくりになるのかとい

	う議論になる。
委員	将来の児童の増減はわからないが、現段階の校区は、宮司2区、宮司3区、西福間5区である。委員の意見を反映するのであれば、範囲を広げても宮司1区、宮司西区までではないか。
委員	仮に全戸ポスティングができることになった場合、校区の3区は全戸ポスティングで、宮司1区、宮司西区には回覧板を回すという、やり方もよいのではないか。
西田委員長	その方法は可能か。
委員	自治会長の協力を得たり、郷づくりから下ろしてもらったりすれば、可能ではないか。今後、巻き込んでいきたいという意思を伝えていった方がよいと思う。
委員	自治会委員だけが対象であれば可能であると思う。
西田委員長	アンケートの取り方は、広報紙に用紙を折り込んで、宮司2区、宮司3区、西福間5区に配付することと、宮司1区、宮司西区には、回覧板で回すということよいか。
委員	全市民対象に、全戸配付でもよいかと思うがいかがか。全員で集まって意見交換をするものではないので、モチーフなどを、QRコードを利用して全市民から集めてよいのではないか。
委員	既存の小学校の校章を決める際に、町民全員にアンケートを取ったのか。
事務局	取っていないと思われる。既存校については、何に基づき、どのような経緯で作成されたのか、記録がない。
委員	今回、作成にあたって、エビデンスを取るということで、対象地区に限定して案内をするという話であったと思う。
委員	市全体にアンケートを取ると、偏りが出てくるのではないか。例えば、他の小学校区からの回答数が多かったがために、影響が出ることがあるのではないか。
委員	市全体からモチーフを集めることは決して悪いことではないと思う。委員長の発言のとおり、宮司地区の回答が少ないと为了避免するために、補完する意味で、対象校区に回覧板を回すことはよいと思う。
委員	校名を決める際に、対象を限定して意見を集約し、最終候補案を決定した。今回の校章に関する事から範囲を広げてアンケートを取っても、回答する側も難しいのではないか。今回も限定してアンケートを取った方がよいのではないか。
委員	同意である。
委員	地域密着でアンケートを取る理由は、地域の歴史や愛着などをより濃く反映したいということで、取りまとめるしかないとと思う。地域を限定してアンケートを取って、アイデアが出てこなければ、次のステップとして、全市に展開することは考えられるかもしれない。
委員	地域、学校、保護者の代表が集まっているので、アンケートを取る必要が本当にあるのか、わからない。アンケートを取ったというエビデンスを残した方がよいという考え方も理解できる。
西田委員長	宮司2区、宮司3区、西福間5区の地域限定でポスティングはできるのか。
事務局	確認をとりたい。
西田委員長	地域限定のポスティングと、宮司1区、宮司西区は回覧板という形でア

委員	ンケートを取りたいと思う。 ポスティングができるのであれば、対象の区に対して、回覧板で、広報紙にアンケート用紙が折り込まれていることのアナウンスは行った方がよいのではないか。
委員	アンケートの目的はエビデンスを残すことであるため、広報紙を見ない人にそこまで行う必要はないのではないか。
委員	エビデンスとは別に、多くの意見を集めたいという思いが、本委員会にはあると思う。西福間5区は回覧板も利用することはできると思う。宮司2区、宮司3区の負担がどの程度か、わからないが、回覧板で周知できれば、アンケート用紙の見落としが起りづらくなるのではないか。
委員	回覧板の方でもアンケートに答えられるようにしてよいと思う。
委員	2重で回答する方も出てくると思うので、広報紙だけで十分ではないかと思う。
委員	広報紙の場合は、QRコードを利用することになるため、年配の方の意見が反映されづらいのではないか。一方で、回覧板は、組長経由で回収できる。
西田委員長	回覧板で回収する場合は、自分が書いたものを隣の家に渡すということか。
委員	回覧板の中にも、各戸配付のものを入れることができる。各戸配付については、個別に組長に渡すことになる。広報紙と回覧板で2重に回答する方も出てくるかと思うが、アイデアは多く出るとよいと思うので、それは仕方のことであると思う。
西田委員長	議論をまとめたい。広報紙への折り込みと回覧板を利用してアンケートを取るということで進めたいと思う。次にアンケートの内容に移りたい。先ほど、イメージを複数提示して選択する方法などの意見があつたが、事務局から案はあるか。委員会の中でアイデア出しをした方がよいか。
事務局	委員会内でアイデアを出していただけるとありがたい。
委員	想像がつかない。
委員	アイデアを出してくれる業者に頼むことはできないのか。
委員	「宮」を入れるのか、自然をモチーフに海や山、神社仏閣などそのようなイメージになるのか。
委員	地域から外れているかもしれないが、ネット検索をして出てくるワードは、大しめ縄、宮地嶽神社、海、松林である。
委員	事務局から広告代理店などに依頼はできないのか。
委員	広告代理店は、デザイナーをかかえているので、依頼をすれば、すぐにアイデアが出ると思う。宮司地区のことをある程度知つていれば、宮地嶽神社や海など出てくると思う。その方が早いと思う。
委員	アンケート作成業務を委託することはできないのか。
事務局	業務委託を行う場合、一連の流れで、デザイナーにデザイン作成業務として委託する方がよい。また、現時点で、今年度の予算は確保されていないため、今年度から業務委託を行う場合は、12月議会において、予算を認めてもらわなければならない。
委員	前回の委員会で、予算が確保できなければ、デザイナーに依頼ができないとの話があったと思う。とりあえず、広告代理店などに依頼する一定の予算だけでも確保できないのか。

事務局 委員	最短で、12月議会で予算が成立すれば、予算が確保できる。 そのスケジュールで間に合うのであれば、問題ないのでないか。ただ、校歌も同時に遅れることになる。校歌の予算は確保できるのか。デザイナーなどの納期次第にはなると思うが、事務局としていつまでに完成したいのか。
事務局 委員	学校の壁面や名札、印刷物などに採用するので、令和8年6月頃までに完成させたい。
委員	当初のとおり、令和8年3月に予算が確保でき、令和8年4月から業者に委託した場合、2カ月で完成できるのか。
委員	2カ月で完成できると思う。アンケートを取るにあたって、回覧日や広報紙の発行日は決まっているため、デザイナーに依頼をし、アンケートの案を作成し、11月や12月に回すということで進めてはどうか。暫定予算のようなものは確保できないのか。
事務局 委員	そのような予算は確保できない。
委員	プロに依頼できれば、すぐに作成してくれると思う。
委員	イメージの元になるもののアイデアを出さなければならないと思う。
委員	既存の小学校の校章を参考にするのもよいかもしれないが、デザイナーに依頼して、桜や海、神社のマークをモチーフにいくつか作ってもらえば考えやすいのかもしれない。
西田委員長 委員 委員 委員	予算の関係もあるため、アンケート案を私と一緒に事務局で作ることは可能か。状況によっては、各委員に意見を求めることがあるかもしれないが、一度案を作つてみてはどうか。 学校の美術の先生は作成できないか。 まずはイメージを考える必要があるので、美術の先生に依頼する前の段階ではないか。
委員	美術の教員にもそれぞれの専門がある。これまでの議論を踏まえると、アンケートの内容を考え、地域に配付し、意見を集約し、どの意見を採用するか、という流れになると思うが、様々な手間がかかつてくると思う。手間暇、質のことを考えるとデザイナーにお願いすることがよいと思う。ただし、丸投げではなく、委員会内で宮司といえば、こんな学校であつてほしいなどのキーワードをあらかた出して、デザイナーに提供し、可能であれば3つほどデザイン案を作成してもらって、取捨選択したり、2つの案を組み合わせて別のものを考えたりした方が、結果的には、労力的にも質的にもよいのではないか。
西田委員長 委員 委員	デザイナーに依頼するのであれば、12月議会で予算を成立してもらい、進めるしかないと思う。勇み足になって2回、3回とやり直すことはできない。 完成は早い方がよいとは思う。
西田委員長 委員 委員	今、試しにAIで作つてみたが、簡単にできそうに感じる。モチーフとして出てきたのは、玄界灘から連想される海、白砂青松からくる松、光の道からくる夕日、宮地岳からくる山、今川からくる川などが出でくる。歴史や文化で言えば、宮地嶽神社やしめ縄、光の道、六百俵が出てくる。あとは、イメージするカラーの意見を持ち寄つて、出てきたものをベースに、デザイナーが作成するということになるのではないか。
	アンケートを取つて、海が多い、神社が多いなどの結果からしほられていき、しほられた中からデザイナーに依頼する流れが一番スムーズでは

	ないか。もしくは、デザイン案を作ったものをアンケートに出す方がよいのか。
委員	海、松、しめ縄などのイメージを元にデザインを作成していく流れがよいと思っている。
委員	イメージは画像であるので、ワードを出すことになると思う。海やしめ縄などの言葉を出して、どれがイメージの元になるのかを考えることになると思う。どのワードがよいか、アンケート取った上で、上位3つを組み合わせて作り、最終的には本委員会で決定していく、という流れで進めるということであったと思う。
委員	どの時点でアンケートを取るかを考える必要があるが、最後の決定時に取るのではなく、最初の案出しで取るということであったと思う。
委員	今、議論されているのは、ワードを誰が出すのか、委員が出すのか、業者に出すのか。
委員	すぐにこの場では出ないような雰囲気である。
委員	ワード出しは、デザイナーに頼むものではないと思う。
委員	デザイン案に対してアンケートは取れないので、地域の学校のシンボルとして、イメージキーワードや色、モチーフについて取ることになるのではないか。例として海や光の道などの選択肢を用意し、さらに自由記述欄も設ける形でよいのではないか。
西田委員長 事務局	アンケート用紙の素案を事務局で作成することはできないか。 先ほどから出ている案のとおり、キーワードとしては、海や松林、砂浜、夕陽などが出てくると思う。案の数は多い方がよいと思っている。
委員	案が多く出過ぎると、絞りにくくなるのではないか。
委員	校歌も併せてアンケートを取ることになると思うが、校歌に関してキーワードを募ることになるのではないか。
委員	校歌は自由記載になるのではないか。
西田委員長	校歌についての議論は、次の議題で行いたい。事務局と私がアンケート用紙案を作成し、本委員会で提案するので、その際に改めてご意見をいただきたい。
2. (2) 校歌について (事務局が説明を行った。)	
【意見交換】	
西田委員長	まず作曲者について、意見を伺いたい。事務局の提案である、●●氏に依頼することについて、いかがか。
委員	事務局の提案に賛成である。
委員	●●氏を否定するつもりはないが、月に1回、●●で演奏をされている、●●に在籍している作曲者の●●氏を提案したい。●●出身で、●●で活動されており、●●のこともよくご存じである。●●が入っていることや、●●であることから面白く、違ったイメージの校歌が出来上がることを期待できるのではないかと思っている。
西田委員長	候補が二人になった。二人に作曲してもらい、どちらかを選ぶとなると失礼なことになるので、依頼する前に、本委員会で依頼先を決定したいと思う。
委員	どちらがよいか判断が難しい。

委員	新設校のイメージが完全に出来上っていないため、わからないところはあるが、恐らく●●氏は●●な曲を作られると思うが、●●氏は●●のものを作られると思う。
委員	●●を拠点に●●で活動され、男性、女性、若い方も在籍されているようだ。
委員	●●は、毎月●●をされていて、決しがたいところではあるが、●●委員が●●氏でよいということであれば、決定することかと思う。
委員	校歌を作るにあたっては、詞が先に作られるものか。それとも曲が先か。
委員	詞が先ではないか。
委員	大きな声で歌える曲にしてほしい。
西田委員長	誰に依頼するか、今回の委員会で決定した方がよいのか。
事務局	早めに決定していただけだと、早く進めることができる。
委員	作詞者の案はないのか。
事務局	作詞者の提案はない。どのように言葉を集めて、詞を作っていくかを検討しなければならない。
委員	まずは作曲者だけを決めておくという認識でよいか。
事務局	そのとおりである。
委員	作曲者について、●●委員の考えはいかがか。
委員	●●な曲か、●●曲か、どのようなものが求められるのか。
西田委員長	●●の曲は、変わったものなのか。
委員	一般的なものから、クラシック音楽、オリジナル曲など、変わった曲ではないが、会話の中で斬新的な考え方を持っていることが伝わってくる。
委員	●●氏もオリジナル曲をリリースされているので、それぞれの作品を聞いてみたいと思う。
西田委員長	校歌として作曲するときは、違う曲調なのではないか。
委員	●●氏の年齢はいくつか。
委員	●●歳を少し超えた年齢である。
委員	●●氏は誰が推薦をしたのか。
事務局	教育長から各学校長に呼びかけ、音楽に精通している教員を紹介してもらった。
委員	作詞者についても、候補者の見当をつけているのか。
事務局	候補者は見つかっていない。
委員	歌詞の作成方法として想定しているのは、キーワードを募集し、本委員会内で並べて作っていくような流れか。
事務局	委員に作成していただくのではなく、作詞ができる方を見つけることはできないか、と考えている。
委員	作詞者は、名前が残るのか。
事務局	作詞、作曲者の名前は残る。
委員	既存校の校歌の作詞者は国語先生が多いのか。
西田委員長	時代が異なるので、何とも言えない。
事務局	言葉を集めて、才のある方に依頼できるとよい。
委員	集まった言葉を元に、ChatGPTで作成できないか。
委員	AIに頼るよりも、適した方に依頼したい。
委員	AIが作った場合、作詞者は誰になるのか。
西田委員長	言葉を集めることができれば、作詞者は、宮司小学校区の皆さんなどと

委員	記載できると思う。 ワードを並べ替えるのではなく、どんな学校なのか、何を求めるのか、というキーワードがあれば、宮司の自然や歴史などを埋め込みながら、形式を考えていくことで、作っていくことができると思う。表現主題があつて、それを形づくるための単語があり、繋がるように修飾し、構成し、パターン化して盛り上がるようすれば、詞はできると思う。曲についても、表現主題があり、音選びや旋律などを結び付けてできていくのだろうと思う。みんなが集う場所や命の大切さ、未来の発展など学校に求めるキーワードが集まれば、それを海や山、歴史と関連づけ、形式を考えていくというアイデアが出てくると思う。闇雲に言葉を集めると、混乱してしまうので、先程述べた段階を踏むと、よいのではないかと思う。こんな学校でやりたい、子ども達に声高らかに、こんな夢や希望を表現させたい、みんなで盛り上がりたい、などのイメージがあると作曲しやすいと思う。
委員	どのような学校にしていきたいか、などは、どこかの段階で作られるという認識でよいか。
委員	その部分は気にかかっている。学校の核となる部分が先に決まって、その後に、校歌や校章を決めた、などの他市町の事例はないのか。議論している事項は、学校に対する思いが必要なものがほとんどである。
委員	本委員会で協議するのは構わないが、初めの段階から全て協議することは難しい。ある程度絞った段階で委員として決めていくことはできる。前回の会議でも、予算の話が出たが、初期の素案を作って、デザイナー、作詞作曲者を決め、本委員会から宮司についてのキーワードなどを提供し、プロが作っていく、という流れが一般的であると思う。本委員会で、曲を作ってほしいと言われてもできない。協議が何度も堂々巡りになっている。専門の方に依頼をした上で、委員会から意見を出し、作成していく流れでないと決まらないと思う。
委員	最終的には校長が決まり、その方が経営をしていくと思うが、市としてどのような学校にしたいのか、を確認できていない。その部分が確認できた上で、校歌や校章を考えていきたい。
事務局	予算については、●●万円と出ているが、まだ確定していない状況で、今後査定を受けて、計上し、来年度に向けて、新たに詰めていくということになる。議論をしていただいている中で、事務局としてもっと内容を詰めていく必要があると感じている。今一度、事務局にて今後の進め方などについて、案を作成し、次回の会議で提案をする形を取りたいと思うが、いかがか。
委員	同意である。今回も事務局から、案は提示されているものの、もっと幅広く提示してもらい、それに対して委員会で議論していく形を取らなければ堂々巡りである。
西田委員長	今回の議論はこれまでとする。

2. (3) 通学路について

(事務局が説明を行った。)

【質疑応答】

西田委員長	現時点では、心配なことや気づいたことなどはあるか。一度現地を見て、議論をした方がよいかと思う。次回までに各自で現地を見て、改めて意見を出し合うということよいか。
委員	市道今川・竿線の高架下は、ロータリーになっており、中央付近に横断歩道を設置することで、西福間5区から出た児童がクランク状に通行することができるため、現段階では一番理想かと思う。人道橋については、前後の道路を町道認定してもらい、福岡県に許可をもらい、設置した経緯がある。車が通れない状態を保ちながら、2倍程度に拡幅できれば心配はなくなる。過去に設置した実績もあるため、拡幅について、福岡県が認めないことはないと思う。この2点を対応できれば、西福間5区の児童の通学については、対応できると思う。
委員	西福間5区から福間小学校に通学する場合に、交通量調査をした箇所と、海側にも90cm程度の幅の狭い通路を通っている。人道橋の拡幅については、お金と時間がかかるため、直近では必要ないと感じる。
委員	同意である。転落防止策を講じるためにお金を使った方がよいと思う。
委員	人道橋の拡幅について、学校建設に伴う通学路の整備を行う方が、予算がつきやすいと思う。
委員	通行量が大幅に増えるが、橋の強度は問題ないのか。
事務局	問題ないと判断している。橋の拡幅については、設置のときに3年間ほど時間を要したことであったが、同程度の時間がかかる見込みであるため、開校には間に合わない。転落防止策を優先し、現行の人道橋を通行していただこうと考えている。その他、グリーンベルトの設置などの安全対策を考えている。
委員	転落防止策は必ず講じてほしい。安全部が優先されることは当然のことである。福岡県から許可が下りることに時間がかかるることは承知している。今後、保護者から橋が狭いことについて、必ず意見が出てくると思う。橋の拡幅を計画している旨を説明できる状態にしておく必要があると思う。
事務局	福岡県とも協議しながら、まずは開校までにできることを実施していくたいと思う。
委員	西福間5区の児童500人が約30分の間に滞留する、校庭に集まったようなイメージを持っており、非常に懸念しているが、どのように考えているのか。
事務局	児童は、家を出て、学校を目指して歩き続けるため、500人がずっと同じ場所に固まり続ける現象は起きづらいと思っている。お祭りや花火大会のようなイメージではないと思っている。通学状況を確認したが、滞留せずに、通行していくという状況であった。
委員	新学期、初めの4月だけかもしれないが、1年生が集団下校で一斉に帰ってくる。狭い橋を一斉に渡ると思うと、保護者としては、怖い感じている。
委員	転落することが怖いということか。
事務局	転落することが危ないのか、すし詰めになることが危ないのか、対策のやり方が異なるため、整理をしたい。
委員	転落も心配であるが、1.5mの橋を一斉に通ろうとして、すし詰め状態になることが心配である。
委員	現状、福間小学校から下校している児童を見ると、広い道では広がって

	歩いているが、西福間5区に入る1.5m程の狭い道でも、問題なく歩いている。
事務局	登下校の状況を確認したが、20人程度が狭い道に一斉に押し寄せるタイミングもあったが、子どもたちなりに速度調整をしながら、通行していた。自転車が来た場合は、察知して自転車が通行できる場所を空けて歩いていた。
委員	人道橋のことだけではなく、横断歩道などその他の狭い箇所についても、子どもたちが集まり、すし詰め状態になる心配がある。安全パトロールの指導員が立つことも考えなければならない。人道橋の拡幅も計画する必要がある。500人が30分間に通行するため、念には念を入れる必要がある。
事務局	道の形状など、変えることができない箇所もあり、ハード面で対策することには限界がある。安全な通学に関する教育や、見守り隊の方々に協力をいただいている現状など、ソフト面でも補いながら危険な箇所を潰していくという考え方で進めたいと思っている。
委員 委員	日常的に子どもたちを見ている校長先生方はどのように考えているか。津屋崎小学校については、児童が約1000人在籍している。一つの入口から入っているが、道の幅に合わせて通行しているため、心配ないと思っている。
委員	子どもたちなりに、アンテナを張って、距離をとるなど、速度を調整しながら歩いていると思う。転落などの方が、危険性が高いと思う。逆に、人数が多いことは、児童数が少ない学校に比べると、不審者に連れ去られる心配が、少なくなることもある。川など、子どもが寄り道したくなる危険性があるところに対して整備をしてくれた方が安心する。潤沢な環境を準備することがベストではあるが、子どもたちも今後、どのような環境下で生活するのか、不透明なところもあるため、登下校の指導などは、学校ができることであると思う。
委員	人道橋のことだけの優先順位については、まずは転落防止策、次に拡幅という共通認識を持ったということでよいか。
委員	人道橋については、ガードレールや柵が途切れている箇所があるため、その部分の整備は必要である。子どもはどのような行動を取るか、わからないこともあるため、皆さんの中で見ていく必要はある。
委員	見守り隊の方がいらっしゃるが、善意でされており、義務ではない。偶然、見守りができないときに問題が起こるかもしれないため、ソフト面の運営も考えていかなければならない。
西田委員長	各自で現地などを確認し、次回以降、改めて意見を出す、ということで、今回はここまでとしたい。

4. 次回開催日程について

第4回委員会は、11月26日19時から開催予定。